中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Nの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ	六波羅探題
(2) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という	御家人
(3) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である	北条泰時
(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である	源義経
(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ	執権
(6) 法然が開き、念仏を唱えればよいと説いたのが（　　）である	浄土宗
(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である	フビライ・ハン （フビライ・クビライ でも正解）
(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である	徒然草
(9) 南北朝が統一されたのは（　　）である	1392年
(10) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という	管領
(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という	建武の新政 （建武の親政 でも正解）
(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という	中継貿易
(13) 応仁の乱が始まったのは（　　）である	1467年
(14) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という	惣 （惣村 でも正解）
(15) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という	下剋上 （下克上 でも正解）
(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という	馬借
(17) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という	書院造
(18) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という	狂言
(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という	御伽草子 （お伽草子・おとぎ草子 でも正解）
(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という	連歌